

筑波大学SGU事業<タイプA>「トランスボーダー大学がひらく高等教育と世界の未来」

INPUTS

Inputs

SGU予算

- (物品費)
・科目ジュークシステム
ハードウェア購入 etc.
- (人件費・謝金)
・学位プログラムコーディネイト教員、講演者謝金
etc.
- (旅費)
・CiCパートナー大学への
訪問・打ち合わせ、
交流プログラム引率 etc.
- (その他)
・学位プログラムパンフ
レット、広報ウェブ作成、
システム保守、文書翻訳
委託 etc.

自己財源

- 【運営費交付金】
・本学独自の海外留学支援事業
「はばたけ！筑大生」
・教職員給与 etc.
- 【関連事業】
・博士課程リーディングプログ
ラム、大学の世界展開力強化
事業、研究大学強化促進事業、
開発研究センター事業、
Campus-with-Campus事業

Activities

- ① Campus-in-Campus (CiC)
協定によるトランスボーダーな
教育研究環境の創出
- ② 科目ジュークボックスによる授
業科目の単位互換の推進
- ③ 教育研究ユニット招致による
世界トップレベルの共同研究
- ④ JD/DDプログラムの推進
- ⑤ 短期派遣・受入プログラム拡充
- ⑥ CiC協定校との学生・教職員の
相互交流の量的拡大・質的充実
- ⑦ 国際互換性のある学位プログラ
ム制への移行
- ⑧ IB, SGHに対応した入試改革
- ⑨ 学生の外国語力の向上
- ⑩ 留学支援体制の充実
- ⑪ 年俸制・テニュアトラック制の
推進
- ⑫ 混合給与・外国人教員の戦略的
採用の拡充
- ⑬ 外国人・女性の働きやすい環境
づくり
- ⑭ グローバル化対応の事務職員の
育成
- ⑮ 教育・研究力強化の観点から世
界大学ランキングの向上に向けた調査・分析

OUTPUTS

Outputs

2013年 → 2023年

- ✓ CiC協定校の数
0校 → **13校**
- ✓ 科目ジュークボックスの
外国語による授業科目数
0科目 → **1000科目**
- ✓ 科目ジュークボックスの
学位取得可能なコース数
0コース → **12コース**
- ✓ 日本人の留学経験者:
3.8% → **30.7%**
- ✓ 外国語による授業科目
16.8% → **23.1%**
- ✓ 外国語のみで卒業できる
コース
19.8% → **28.3%**
- ✓ TOEFL550点以上の学生
6.8% → **32.2%**
- ✓ 外国人留学生の数
1,886人 → **3,500人**
- ✓ 外国人留学生の割合:
11.0% → **20.5%**
- ✓ 外国人教員等:
24.9% → **52.2%**
- ✓ 外国人研究者等の受入れ
1,166人 → **2,000人**
- ✓ 年俸制(教員)
11.0% → **40.0%**
- ✓ 外国語力基準を満たす
専任職員数
9.0% → **37.7%** ... etc.

OUTCOMES - IMPACTS

IMPACTS

トランスボーダー型の
新たな高等教育モデル
の創出

世界に存在感を放つ
フロンランナーへ

トランスボーダーにより
独自の大学像を創出

Short-term

教育力強化

- 学生の多様性と流動性の向上
- 国際的互換性のある教育システム
- 社会のニーズに応える人材育成

研究力強化

- 多様な分野の強化と協働
- イノベーション型研究の推進
- 国際共同研究の推進

ガバナンス改革

- 包括的国際化の実現
- 学長のリーダーシップの下に学内リソースを集約
- 世界の教育研究リソースを活用

Long-term

国境や地域
を越える

学問分野の
ボーダーを越える

社会との
ボーダーを越える

人の役割の
ボーダーを越える

組織の
ボーダーを越える

筑波大学の理念
とミッション
「開かれた大学」

地球規模課題の
解決に向けた知
の創造とそれを
牽引するグロー
バル人材の育成